

<今朝の聖書から>

【あらすじ】こんなふうに、あるまとまった物語が取り上げられる時、今朝の箇所は“悪霊に取りつかれたゲラサ人をいやす（新共同訳のタイトル）”ですが、何度か読み返し、読んでいてどんなふうに関わられたか、思いめぐらしてみるの、とても大切な事だと言えます。聖書が取り上げ、伝えられ、マタイ（8：28～34）もルカ（8：26～39）も、おそらく同じ出来事としか思えない記録を残していますが、何故大切なのか、私も知るのが楽しいのです。別に新共同訳などの小見出しと違っていてもかまわないのですが、もっと細かな要点にまとめて見るのも良いでしょう。

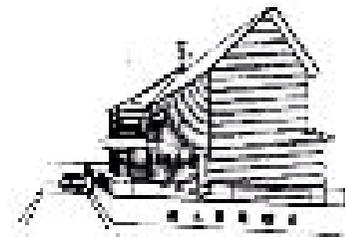
【二つの願い】聖書にはいっぱい“願い事がなされた”とあります。今朝の箇所にもありますが、初めに二つの願いに着目してみましょ。5：7に“いと高き神の子イエスよ、あなたはわたしとなんの係わりがあるのです。神に誓ってお願いします。どうぞ、わたしを苦しめないでください。”とあるところと“そこで、人々はイエスに、この地方から出て行っていただきたいと、頼みはじめた。（5：17）”の二つです。先週私たちは、“悪しき罪の思いはどんなにイエス様のことを、私たちよりも時としては遥かに敏感に知っているか”ということを知りましたが、人々に忍び込む悪しき思いと、イエスの救いの真理の対決と言っていいと言えます。最初の願いでレギオン（達）はこう言われています。おまけに“神に誓って”とまで言っているのです。更に救いの光景を目の当たりにした人々は“出て行っていただきたい”と言っているのも、同じ内容のことでしょう。

【イエス様の命令】悪霊につかわれていた人は、イエス様に“お伴をしたい”と信仰の告白をしますが、イエス様の与えて下さった使命は、“しかし、イエスはお許しにならないで、彼に言われた、「あなたの家族のもとに帰って、主がどんなに大きなことをしてくださったか、またどんなにあわれんでくださったか、それを知らせなさい。」（5：19）”とある通りのものでした。主の出来事は伝えられなければならないのです。

【宣べ伝えなさい】“そして自分にイエスがしてくださったことを、ことごとくデカポリスの地方に言いひろめ出した（5：20）”は、宣教命令、もしくは教会奉仕への指示に間違いありません。最初に弟子とされた人たちよりも、教会奉仕者に相応しかったのです。彼は、自分の全てを保てなくなるほどに、悪しき霊に囚われていました。罪を知っており、その罪がいかに巧妙に人を蝕もうとしているのかも知っており、また豚飼達に代表される、この世界の価値観知っていました。更に、悔改めと信仰の告白とも、経験しました。私たちと同じです。教会に相応しい人になりました。

週報

2010年 6月 13日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

振替口座 00890-6-214042